

膀胱内の老化細胞 「がん」進行を促進

目黒福医大 治療薬開発に期待
助教ら解明



目黒了助教

福島医大医学部泌尿器科
学講座の目黒了助教らの研
究グループは、膀胱（ぼう
こう）の組織内に存在する
老化した細胞が、膀胱がん
の進行を促進していると突
き止めた。新たな治療薬の
開発につながる成果として
いる。福島医大などが9日、
発表した。

研究グループによると、
膀胱内には加齢に伴って老
化した細胞が増加する。膀
胱がん細胞を移植したマウ
スを使った研究で、老化し
た細胞を投薬などで除去し
たところ、がんの進行が抑
制されることが分かった。
今後は老化した細胞を標的
とした新薬開発が期待でき
るという。

県によると、県内では2
019年に378人が膀胱
がんと診断された。202

0（令和2）年の死者は1
24人だった。
研究成果は9日、老化研
究に関する国際科学誌「N
ature Aging」
に掲載された。